

向東だより

令和8年3月「学校評価アンケート(後期)」報告

平素は本校教育活動へのご理解ご協力、誠にありがとうございます。本校では、令和7年度下記の学校経営方針にそって、様々な教育活動を行っております。今回、生徒・保護者・教職員を対象に実施した「学校評価アンケート(前期)」を元に、3つの視点で、向島東中学校について分析をしましたので、報告させていただきます。

学校教育目標

『未来の世界を、たくましく生き抜く学び手の育成』

◆目指す生徒像

「愛」 人を大切にする生徒

～人(自他ともに)を大切に思い、つながり、高めあう姿～

「学び」 学びに夢中になる生徒

～学びに没頭し、他者と協働しながら教科の魅力を楽しむ姿～

「徳」 自律・自立のもと自己変革できる生徒

～目標を立て、見通しを持ち、自己調整しながら成長する姿～

◆生徒に付けたい資質・能力

『対話力』

- 事象との対話・・・知的好奇心や探究心をもって向き合う姿
- 自己との対話・・・自己理解、自己調整しながら、粘り強く取り組み、その過程を振り返る中で自己認知につなげる姿
- 他者との対話・・・思いやりをもって、つながり、高め合う姿



【豊かな心の育成】

本校では「つながり」づくりのために、縦割りの取組や学校行事、全校道徳など、縦と横のつながりを意識して行っています。本年度は学校視察も含め、来校者が多く、保護者の方からも「挨拶できる生徒が増えた」との声もいただきました。生徒たちにとっては、向島東中学校がどう見られているかを客観的に知れたことが「学校を誇りに思う」「地域が好きだ」という思いの高まりにつながっていると考えます。

校内の図書環境の整備も進み、本との出会いで世界を広げている生徒も増えています。



【学習について】

向島東中の学校改革「夢現スキーム」の柱は「授業」と「つながり」の2つです。生徒たちの「知りたい」という意欲を高め、交流の中で考えの幅を広げることを目的としています。「学びの作法」を大切に、話し合う活動で自分の考えを広げたり、深めたりすることで、向島東独自の「学び」の学校文化を生徒自身が作り上げ、継承してくれています。そのことは、アンケートの結果で約8割の生徒が学習内容を理解したと答えており、ほぼ同割合の保護者が「基本的な学力が身に付いている」と認識していることからわかります。

グループで学習することのよさや面白さを実感しているからこそ、授業の中の学びに対する自己評価も高くなっている一方で、課題に自分一人で試行錯誤したり、内容をじっくり考えたりする場面になると「自ら学べていない」と感じている生徒もいます。そのことは、多くの生徒が生徒自身で家庭学習に十分に組み合っていないと認識しており、保護者もそのように感じていることからわかります。

自らの進路を切り拓いていくために、興味関心のあることを中心に、一人でも学びに没頭できる素地を養うべく、次年度は総合的な学習の時間の充実を図って、探究学習を進めるとともに、自学を進める取組も並行して行っていきたいと考えています。

今年度は4月にも授業参観を実施したり、華道体験等の参観を実施したりしましたが、今後も引き続き、保護者や地域の方々に参加していただける学習の場を増やし、学校の取組や子たちの姿を感じ取ってもらえる取組を大切にしていきます。



【生活面について】

本校の7割の生徒は24時までには就寝し、最低7時間の睡眠時間を確保していると考えられますが、中学生の健康を守るための睡眠時間は、8時間と推奨されていることから、少しでも早い就寝を意識することが大切です。

また、スマホなどのメディア使用時間については、2時間以上の生徒が85.7%（前年度9.5%増）で、睡眠時間が短い生徒ほど就寝時刻が遅くなっていることを確認しています。

近年全国的にも本校の眼科健診の結果においても、近視の生徒数の増加が確認されており、メディア機器の使い方について約束を設けていくことが重要です。今年度の学校保健委員会は、保護者の方々と共に気づきを得られる絶好の機会となりました。今後も、子ども自身と学校・家庭・地域という大人が一丸となって取り組み、大きな改善につなげていきたいと考えています。

これからも向島東中学校の学校改革は進んでいきます